



# 2021 Annual Report

2021年度 年次報告書 2021/1/1-12/31



**FREE THE  
CHILDREN**

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会に

03-6321-8948

| [www.ftcj.org](http://www.ftcj.org)

| [info@ftcj.org](mailto:info@ftcj.org)

## OUR STORY 団体の始まり

1995年、カナダに住む12歳のクレイグは学校に行く前にマンガを読むと新聞を手にしたところ、ある記事に目が留まりました。

### 「児童労働の廃絶を訴えていた12歳のパキスタン少年、射殺」

パキスタン人のイクバル・マシーは、とても貧しい家庭の出身で4歳のとき、両親から引き離され絨毯工場に売られてしまった。1日10時間以上の労働を強いられていたが、工場から脱出できNGOの助けで児童労働反対を訴える活動家として世界を回っていたが、母国に戻った時、何者かに殺害された。

クレイグは、同じ年のイクバルの死や、世界に奴隷のように働かされている子どもがいることにショックを受け、「同じ子どもの問題なら、自分たち子どもで取組もう」と声をあげ、「FREE THE CHILDREN」(FTC)を設立しました。

その後クレイグは実際に児童労働の現状を学ぶため中学1年生になると南アジア5カ国をまわる50日間の旅に出ました。そこで、マザーテレサやノーベル平和賞を受賞したカイラシュ氏に出会いました。そして、クレイグの想像をはるかに超える過酷な環境で働くたくさんのお子もたちのことを世界に伝えるため、カナダに帰国後、旅の体験記を本にまとめたりスピーチをして世界をまわるようになりました。

現在、FTCはカイラシュ氏、マララ氏をはじめ多くの著名人と共に、全ての子どもが教育を受けられるように一緒に活動しています。フリー・ザ・チルドレンの活動は世界的に認められ、創設者のクレイグは今まで3回ノーベル平和賞にノミネートされています。

1997年、アメリカのNGOに所属していた中島早苗(現代表)がFTCとクレイグの活動を知り団体の理念に賛同し日本を紹介しようと、帰国後1999年に日本でフリー・ザ・チルドレン・ジャパンとして活動を開始。2004年に、法人格を取得しました。国内外の子どもたちへの自立支援事業とともに、国内でのエンパワーメントにも力を入れ、アクションを起こす子どもたちが増えるように、事務局ではスタディツアーやテイク・アクション・キャンプの開催、出前授業などを実施しています。現在、全国の子どもたちがメンバーとして国際協力やさまざまな社会課題解決に向け、それぞれの得意なことを生かしながらアクションを起こしています。



## OUR VISION フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目指す社会

世界中のすべての人々が【誰一人取り残されることなく】社会に参加し、国籍・宗教・年齢・性別・障害の有無・文化に関係なく、違いや個性が尊重され、互いに勇気づける多様性のある社会。

## OUR MISSION フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの使命

日本からビジョンを達成するために、社会の一員であり、普段あまり声を聴かれることがない子どもに特に着目し、まずは子どもの権利を守り、子どもの可能性を引き出すことが大切だと考え、ふたつの「FREE」の実現を目指します。

### Mission 1

国内外の貧困や差別から  
子どもをFree(自由)にする。

### Mission 2

「子どもには世界を変えられない」  
という考えから、  
子どもをFree(自由)にする。



## MESSAGE FROM 代表挨拶

## THE CHAIRPERSON OF THE BOARD



2021年は、新型コロナウイルス感染拡大から1年が経過しても収束の気配が訪れず、何度も感染拡大の波が来ては去りを繰り返し、感染予防に常に気を付けコロナとともに過ごす生活が日常となりました。私たちフリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)でも、オンラインを通じた活動が日常となり、世田谷区に置く事務所の開設は原則週に3日とし、対面での活動は限られたものとなりました。

2021年6月に発表されたILO(国際労働機関)とユニセフ(国連児童基金)の報告書によると、世界には1億6000万人(2020年推計)の子どもが児童労働に従事していることが明らかとなりました。今回発表された推計では残念ながら、20年ぶりに児童労働者数は減少傾向から増加に転じてしまいました。この児童労働者数は、世界の子ども10人にひとりにあたります。新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大し多くの貧困家庭で親の収入が減少したことで、今後さらに児童労働者数が増えることが危惧されます。

国内に目を向けると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化する中、子どもへの虐待に悩む親からの相談が相次いでおり、配偶者らによる暴力(DV)はコロナ禍で大幅に増えていると報道されています。

私たちFTCJでは、こうしたコロナ禍において、増々厳しい状況に置かれている国際協力事業地や国内での子どもとその家族への保健向上や教育支援を行いました。また、日本の子どもや若者がコロナ禍においても感染予防をしながら活動できるようなサポートや、子どもの権利が保障される日本社会を目指し、子ども基本法の制定に向け、日本政府や国会議員をはじめ日本社会に子どもの声を届けることに注力しました。

また、なんといっても私たちにとっての大きな一歩は、ソーシャルアクションを起こした子どもや若者の活動を称え祝いエンパワーする「チェンジメーカー・フェス」の第一回をオンラインではありましたが開催できたことです。

10年以上前から日本で開催をしたいと計画していたイベントでしたのでオンラインであっても実現できたことは大変嬉しく感じました。実現に際したくさんの方にご協力いただきましたことを改めてお礼申し上げます。

事務局体制については、リモートワークが新しい日常となり、FTCJでもスタッフが世田谷の事務所以外でも仕事ができるよう体制を強化しました。というのも、6月から代表の中島は新潟へ、事務局長の原元は山口へ移住することになり、物理的に東京を離れることになり、オンラインやクラウドでの業務体制を整える必要性が出て参りました。2020年からリモートワーク環境整備のための東京都の助成金などを活用してきたことで、比較的スムーズに移行できました。

2020年のコロナ禍による様々な変化を受け、またちょうど団体としてもミッション達成に向けてその道のりと具体的な活動を見直す時期になっていたため、Panasonic NPO/NGOサポートファンドfor SDGsの助成金で、中長期計画を策定することができました。コロナにより生活様式や働き方など価値観が変わったこの転換期に理事や監事をはじめ、子どもアンバサダーやインターンの皆さんから意見を伺いながらアドバイザーの河合将生さんにファシリテーターをしていただいて団体の強みやFTCJらしい活動について意見交換できたことは大変有意義な時間となりました。話合いで出た内容を今後の活動計画に反映させ取り組んでいきます。

海外視察やスタディツアー、国内でのキャンプの実開催は年を通じて困難な状況ではありましたが、多くの方にご支援ご協力をいただいたことで、かたちを変えて事業を実施することができました。ご協力くださった皆さまご自身それぞれ大変な状況のなかにいらっしゃったと思いますが、FTCJの活動に心を寄せて応援くださり、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

代表理事 中島早苗

# A look back at 2021

## 一年を振り返る

たくさんの方々の温かいご支援によって、国内外でさまざまな活動に取り組むことができました。心より感謝申し上げます。

# 啓発プログラム WE MOVEMENT

### 無料オンライン講座

#### WE TALK "SOCIAL"

社会問題を学び、仲間と話し合うオンライン講座。21年度は大学生メンバーによる企画運営を行ないました。

1月～11月 ▶ 9ページ

### 同窓会イベント WEUNION

例年1月にオフラインで実施している同窓会イベントを延期し、5月にオンラインで開催。

5月 ▶ 6ページ

### 出前授業



2021年度はオンライン/オフラインさまざまな形式での出前授業を実施しました。

通年 ▶ 8ページ

### ハロウィン・フードドライブイベント TRASH? OR TREAT?



食品ロス削減月間&ハロウィンにちなんだ仮装イベントを世田谷区で開催。

10月 ▶ 10ページ

### 子どもの企画を応援



子ども・ユースのソーシャルアクションの企画・実行を応援するプロジェクト。

9月～12月 ▶ 6ページ

### FTCJ活動報告会

当団体が行う国内・国外の活動内容や成果を報告するオンラインイベントを2回開催しました。

8月・12月 ▶ 5ページ

### テイク・アクション・オンライン・キャンプ

例年合宿形式で実施しているキャンプ。昨年に引き続きオンラインで春夏に開催。



オンラインで春夏に開催。

5月・8月 ▶ 7ページ

### 外部ネットワーク



SDG4教育キャンペーンの一環で、子ども・ユースメンバーによる政治家、関連省庁への教育に関する提言活動を行ないました。

3月～9月 ▶ 11ページ

### チェンジメーカー・フェス

昨年延期した「子ども・若者のアクション」を応援するライブイベントをオンラインで開催。



3月 ▶ 10ページ

## 支援プログラム FREE THE CHILDREN

### 国内子ども支援 入学・進級応援金

経済的に困難な状況にある約100件の子育て世帯へ、入学や進級にかかる費用を軽減する応援金を配布しました。

3月 ▶ 15ページ

### フィリピン コロナ緊急支援



コロナの影響で仕事がなく、なり困難な状況にあるフィリピンの子育て家庭を対象に食料支援などを実施しました。

6月 ▶ 13ページ

### コロナ緊急支援 弁当配布@千葉

千葉県のカフェと協働しオーガニック弁当を子どもたちに提供しました。

1月～3月 ▶ 15ページ

### スカラシップ (参加費免除制度)

経済的な理由で参加が難しい家庭の子どもを対象にテイク・アクション・キャンプへのスカラシップ制度を設置。

5月・8月 ▶ 15ページ

### フィリピン 先住民族の子ども 教育支援

ミンダナオ島先住民族の村に暮らす子どもたちの教育環境整備に向けた支援事業を実施しています。

通年 ▶ 13ページ

### フィリピン 視覚障害者支援



視覚障害のある子どもが、遠隔・オンラインでの授業を受けるために必要な機器などの支援を行なっています。

9月～ ▶ 13ページ

### インド 子ども教育支援

コロナ禍が長引き、苦しい状況にあるインドの子どもたちへ文房具などの配布を行いました。



通年 ▶ 14ページ

### ケニア保健医療支援

感染予防に関する教育やワクチン接種・移動診療所・医薬品の手配、診療所での医療活動支援を通年で行ないました。



通年 ▶ 12ページ

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

# FTCJ YOUNG AMBASSADORS

## FTCJ子どもアンバサダー

FTCJの子どもメンバーの代表である子どもアンバサダーは、全国の子どもメンバーを繋ぐミートアップイベントの開催、自らのアクションを発信する活動のほか、団体運営について意見がある場合は、事務局に提言を行う役割を担っています。

子どもアンバサダー10期(任期:2020年10月~2021年9月)に14名、11期(2021年10月~)に14名が活動中です。積極的に自ら社会問題解決のためのアクションを起こし、発信しています。学年の変わり目や引継ぎの観点から、任期は9月から1年間。現メンバーで2022年9月まで活動予定です。

- 2月27日 勉強会「文章の書き方講座」
- 3月14日 2021年度総会・意見交換会に出席
- 3-5月 教育雑誌「生活教育」からの依頼を受け3名が執筆
- 4-10月 リレーコラムにて9名が計10回コラムを投稿
- 5月5日 WEUNIONDAY 2021で4名がファシリテーターを担当
- 9月18日 勉強会「ファシリテーター講座」
- 10月2日 ミートアップを開催 司会、ファシリテーターを担当
- 11月 企画会議 3回実施
- 11月6,7日 子どもの権利条約フォーラムINかわさき 2名登壇
- 12月19日 企画会議&千歳烏山付近で街頭募金実施



# TAKE ACTION ONLINE CAMP

## テイク・アクション・オンライン・キャンプ

小学5年生~高校生を対象にした合宿型リーダーシップ・トレーニングプログラム。子どもたち自身が「子どもには世界は変えられない」という考えから脱し、子どもが社会問題や国際協力活動に取り組むための自信とスキルを習得できるプログラムです。2021年も前年に引き続きオンラインで開催。

例年は合宿型で実施していた当事業は、コロナウイルス感染拡大に伴い、前年度より全面オンラインに切り替え実施しています。オンラインのプログラム構成や内容を充実させ、複数のオンラインアプリケーションを活用しながら、ゴールデンウィークと夏休みの期間に開催いたしました。おうちで実際にアクションを起こしてみる「おうちdeアクション」を行ない、参加者のアクションの1歩目を応援するプログラムとしてより充実させることができました。

オンラインならではの成果も多かったため、次年度もオフラインだけではなく、オンラインでのプログラムの開催も行っていきたいと考えています。

**実施日**

春:2日間プログラムを実施 5/3-4  
夏:4日間プログラムを実施 8/17-20

**参加者数**

春:26名  
夏:32名



# WE ARE THE MOVEMENT

## ウィー・アー・ザ・ムーブメント

子ども・ユースが発案・企画するソーシャルアクションプロジェクトの実施をスタッフが伴走。プロジェクト実施に向け、企画書の作りこみ、プロジェクトの当日運営、振り返りをサポートしました。

2020年に引き続き2回目となった本事業には、子ども・ユースから計7企画の応募があり、6件(総勢33人)を応援プロジェクトとして採択しました。各グループに担当メンター(当団体スタッフ)を配置してアクション実行を応援し、「ジェンダー」「プラスチックごみ」「水問題」「子どもの権利」「ミートレスマンデー」「入管問題」に関するアクションが企画・実施されました。

pick up! /

### 「With Refugees' べんきょう会」「入管問題アンケート」 企画グループ: With Refugees (ウィリーズ)

中学生が入管問題に関するアクションを行っている With Refugeesでは、入管施設に収容された経験のある方、関東地域で被収容者の支援を行っている団体のメンバーをゲストに迎えたオンライン勉強会の開催や、やさしい日本語と英語で作成した入管問題に関するアンケートの実施などを行ないました。



# FACILITATORS INTERNSHIP PROGRAM

## 次世代リーダー教育インターンシッププログラム

相手に寄り添い、個性や意見を引き出すFTC独自のファシリテーションスキルを学ぶ、主に大学生を対象としたプログラム。受講者はテイク・アクション・キャンプやオンラインイベントでのファシリテーターを担います。

例年はオフラインで実施している当事業ですが、2020年に引き続き21年度も全てオンラインで研修を実施しました。今年度はキャンプでのグループファシリテーター役を担うための研修を行う「テイク・アクション・キャンプコース」と、オンラインワークショップの企画運営を担う「WE Talk "SOCIAL"コース」2つのコースに分けて研修を行いました。

各コース(夏、秋)ごとに週末を使って複数回のトレーニングを行い、スキルテストや実践練習を実施。研修と実践を通じてファシリテーションスキルを身に付けた大学生ファシリテーターは、テイク・アクション・キャンプで子どもたちの個性や意見を”引き出す”力を発揮しました。WE Talk "SOCIAL"コース受講生は、さまざまな社会問題を題材としたワークショップの企画から当日のファシリテーションまで全てを自分たちで担い、沢山の全国の参加者(小学生~大学生)へ学びと気づきの場を提供しました。対面で会うことができない中、オンラインツールを使いこなしながら仲間同士チームワークを高め、充実したプログラムを実施することができました。



# SENDING SPEAKERS

## 出前授業・講師派遣

2021年実績 83回(オンライン形式・動画上映含む)

参加対象人数 11,020人

年間を通じて、社会問題や権利を奪われた子どもの現状、課題解決について出前授業を実施しています。アクティブラーニング形式を大切に、複数のワークショップを組み合わせながら、各学校毎に完全カスタマイズでプログラムを作成しています。

残念ながらコロナ禍の影響を21年も受けましたが、オンライン・オフラインの形式をおおいに活用し、普段向うことが難しい地域の学校や、全校生徒向けの授業実施を行うことができました。

### pick up! / 埼玉県立上尾中学校1年生に世界のことを知り、アクションを起こす方法を学ぶ授業を実施

授業実施後に、実際に生徒の皆さんが様々なアクションを起こしていました。フリー・ザ・チルドレンのフェアトレードマンゴーを180個販売したり、洋服を集めたり、絵本を創ったりと、アイデアあふれるアクション。先生方がとても熱心にサポートをされていたからこそ、大きな成果に結びついたのでと思います。次年度も一緒にできることに楽しみにしています!

#### 生徒からの感想

- 自分が調べただけではわからなかった現地での様々な話を伺えて勉強になりました。
- 好きなことを活かしてアクションを起こす考え方を知れてよかった。
- アクションを起こすときに、目標を細かく立てることで、結果的に楽しく成果につながるということが分かった。

#### 先生からのコメント

生徒たちは一生懸命、自分たちの提案やアクションをステージ上から報告していました。生徒たちの学びを実社会とつなげて考えるチャンスができてとてもよかったです。サポートや生徒へのメッセージありがとうございました。



#### 2021年 出前授業・講師派遣先

- 小学校: 足立区立宮城小学校、世田谷区立鳥山小学校、八尾市立高安西小学校、世田谷区立赤堤小学校、桐朋小学校、目黒区立油面小学校、江戸川区立上一色南小学校
- 中学校: 世田谷区立桜丘中学校、町田市立真光寺中学校、横浜市立平塚中学校、東大和市立第二中学校、児華学園中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校、上尾市立上尾中学校、高田中学校
- 高校: 立教女学院高等学校、静岡雙葉高等学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、吉祥女子高等学校、鳥取城北高等学校、横浜市立みなと総合高等学校、東京都立大桜高等学校、埼玉県立春日部女子高等学校、大阪府立佐野高等学校、神奈川県立有馬高等学校、工学院大学附属高等学校、栃木県立益子芳星高等学校、群馬県立高崎女子高等学校、大阪府立東区高等学校、兵庫県立武庫荘総合高等学校、横浜市立横浜商業高等学校、名古屋市立北高等学校、カリタス女子高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、熊本県立熊本東陵高等学校
- 大学: 中央大学、国際基督教大学、神戸女学院大学、桐蔭横浜大学、白百合大学、上智大学、東洋大学、清泉女子大学、明星大学、学習院大学、明治大学
- その他: 日本教職員組合、愛知県教員組合、愛知県尾張旭市教員組合、八千代市教育研究会 生活科部会 他

# EVENTS イベント

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが企画実施する自主イベント、他団体やネットワークのイベントに出展参加を通して、団体のミッション達成を目指しています。

21年は、前年に引き続き10月に食糧問題に関する子ども向けイベントをオフライン(東京都世田谷区)で開催しました。また、団体の活動報告会をオンラインで夏と冬の計2回開催することができました。

**10月30日** 仮装フードドライブイベント「TRASH? OR TREAT? ~ゴミ?ごちそう?」を開催。ハロウィンを楽しみながら食品ロスや食糧問題について考えました。オフィス近隣地域の子どものたちを中心にたくさんのご参加があり大盛況となりました。

**8月25日** 当団体のさまざまな活動の内容や成果を報告するため、オンライン(ZOOM)での活動報告会を実施しました。夏はフィリピンの現地スタッフと繋ぎ現地の活動について紹介。冬は日本で活発に活動している子どもメンバーたちが登壇しました。



# CHANGE MAKERS PROGRAM

## FTCチェンジメーカー教育プログラム

アクションの輪を広げるための教職員向けの教材を作成。登録することで団体のウェブサイトより無料でダウンロードすることができます。4つのステップで学び、アクションを考え実践し、振り返る構成になっています。

「FTCチェンジメーカー教育プログラム」は、子ども・若者一人ひとりが社会問題を自分ごととして捉え、問題解決に向けたアクションを起こせるようにフリー・ザ・チルドレンが開発したサービス・ラーニング教育プログラムです。

社会問題を学べるワークショッププログラム、実施事例、指導案例などを無料で提供し、全国の先生方に授業で活用していただくことで、今後さらに社会問題解決に向け主体的にアクションを起こす子どもが増えていくことを目指しています。

21年は教材の強化を行いました。また、学校へのコンサルティング業務も行い、年間を通してプログラムを実施する学校のサポートにも取り組みました。



# WE TALK "SOCIAL"

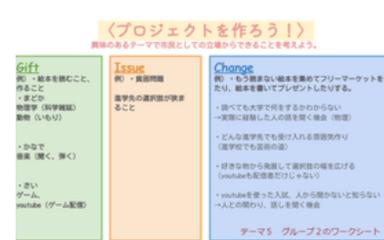
## 無料オンラインワークショップ

2020年春からスタートした無料オンライン講座。世界のことをや社会問題について考える、小学生~大学生世代を対象としたワークショップ形式の講座となっています。

2020年春にコロナ禍での国内緊急支援事業として始まった無料オンライン講座「WE Talk "SOCIAL (ウィー・トーク・ソーシャル) 」は、2021年度はアドボカシー事業として事業化し、年間を通じて実施しました。

2021年度での新たな試みとして、次世代リーダー教育インターンシッププログラム(7ページ)と連動し、ファシリテーションや企画のトレーニングを受けた大学生インターン生が、自ら興味を持つ社会問題を題材としたオンライン講座を企画・運営し、その企画を「WE Talk "SOCIAL"大学生企画」として実施サポートした点です。

1月~11月に、事務局主催で2回、大学生メンバーの企画で4回、大学生教育インターンシッププログラムの一環でインターン生(大学生)が8回の計14回の講座を開催することができ、参加者の延べ人数は約200名でした。



# PUBLISHERMENT

## 出版 / 発行 / 配信

ニュースレター: 53号・54号・55号 各700部  
 アニュアルレポート: 2020年度アニュアルレポート 700部  
 メールマガジン: 登録者に月2回発行



# CHANGE MAKERS FES 2021

## チェンジメーカー・フェス企画・開催

社会課題を解決するためのアクションを起こした子どもや若者を祝い、エンパワーメントするライブイベントを企画開催。コロナ禍の影響をふまえ、オンライン開催での初開催となりました。

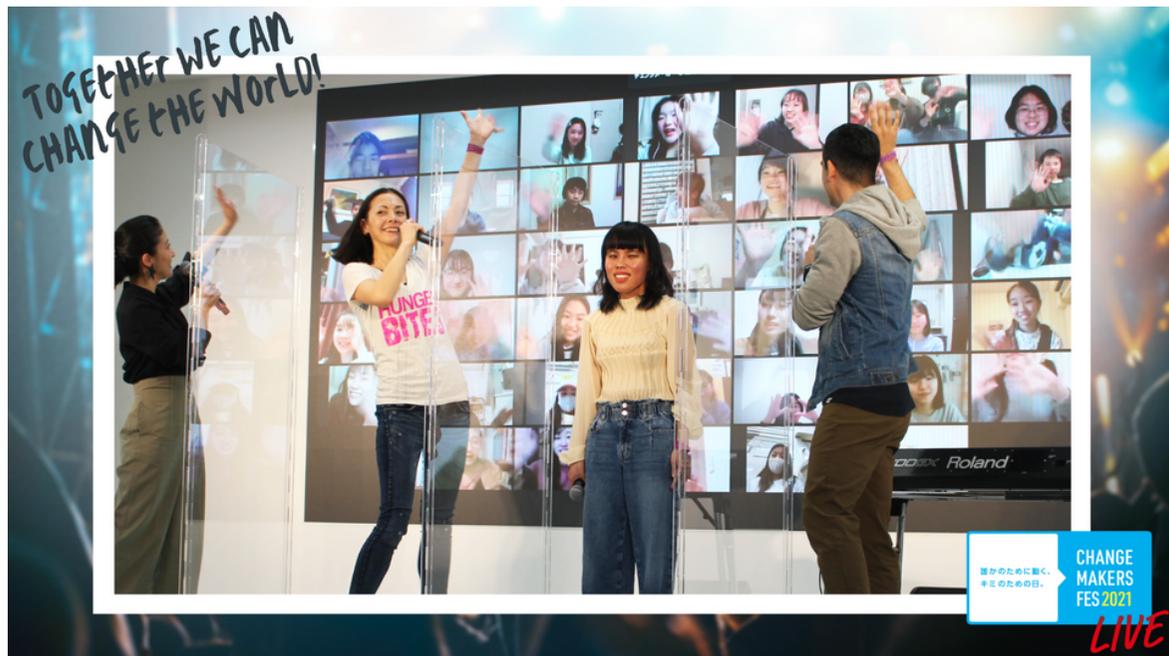
2020年3月に開催を予定していた延期となった、子ども・若者のN自主的な社会貢献活動を根付かせるためのライブイベント「WE DAY」は、事業名をWE DAY JAPANからCHANGE MAKERS FESに変更し、2021年3月にオンラインで初開催することができました。2020年のWE DAY JAPAN申込者も招待し、本年の新たな参加者も新たに募集しました。また、コロナ禍でアクションを起こす若者のムーブメントを、より多くの人に見てもらい、日本全体をエンパワーするため、当日はYOUTUBEで生配信を行いました。

### 企画概要

- 【日時】2021年3月20日(土・祝) 14時~17時 【会場】オンライン(ZOOMおよびYOUTUBE)
- 【内容】社会活動家・著名人などによるスピーチやパフォーマンス、子どもや若者のアクションによる成果の発表、子どもや若者活動家(参加者)によるスピーチやパフォーマンス
- 【対象】国内外の社会課題に対しアクションを起こした25歳以下の子ども・若者。このムーブメントに関心を寄せるおとな。
- 【出演者(敬称略)】土屋アンナ / AKANE / すみれ / TATSUYA / ケイティ / テツANDトモ / 福田萌子 / よしあき・ミチ / わたなべちひろ / せやろがいおじさん(えもやん/リップサービス) / たかまつなな・ガリベンズ矢野・相川美菜子(笑下村塾) / 保坂展人 世田谷区長 / 鈴木雅剛(ボードレス・ジャパン) / 伊是名夏子 / 河合実卯 / 木暮里咲 / 毛千晴 / 山口由人 / 坂口くり果 / 川村綾
- 【助成】大東建託グループみらい基金
- 【協力】一般社団法人OSAKAあかるクラブ、一般社団法人オール・ニッポン・レノベーション、NPO法人WAKE UP JAPAN、一般社団法人ONE YOUNG WORLD JAPAN COMMITTEE、広げよう!子どもの権利条約キャンペーン
- 【事務局】株式会社フロンティアインターナショナル

### 開催の目的

1. 参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
2. 参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができていることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
3. 参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。



# JNNE CAMPAIGN

## JNNE / SDG4教育キャンペーン

開発途上国の子もたちへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。情報交換や政策提言などを行っています。

SDG4教育キャンペーン2021では、2021年度に以下の事業を実施しました。

- 8党へSDG4(教育目標)に関するアンケートを実施。自民・公明・立憲・共産・れいわ・社民の6党から回答を得ました。(3月)
- アンケート各設問において、「アンケート回答を最も支持する政党はどこか」問うオンライン投票を実施し、全国から3,896名の子ども・ユース・市民が参加しました。(4~5月)
- 投票結果を踏まえ、20名の子ども・ユース代表が5党の国会議員や文科・財務・外務省の高官と面会。国内外の教育問題・支援のほか、子どもの権利保障・ブラック校則・教育現場におけるジェンダー平等などに関する提言や意見交換を行いました。(6月~9月)

# CL-NET

## 児童労働ネットワーク

児童労働問題に取り組むNGOや労働組合、個人により構成され、児童労働の廃絶に向けたキャンペーンなどを実施しています。FTCJは運営委員団体として参加。

6月1日~6月30日に「ストップ!児童労働キャンペーン2021」を開催し、児童労働問題の意識啓発を行いました。2021年は、児童労働のグローバル推計の新たな発表があったことを踏まえ、新しい児童労働に関する情報を伝えるためのオンラインイベントを企画しました。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え、オンラインを通じたキャンペーンを展開しました。

キャンペーン内容:

1. ソーシャルハブを活用したキャンペーン参加者を一覧化できる仕組みをウェブページに設置
2. INSTAGRAM のフィルターの作成
3. 「2021年アクションの誓い」の参加呼びかけ

# FAIR TRADE TOWN

## フェアトレードタウン世田谷推進委員会

世田谷をフェアトレードタウンにするため設置されたネットワーク。



世田谷区をフェアトレードタウンにするための個人、団体、企業によるネットワークです。フリー・ザ・チルドレン・ジャパン事務局が世田谷区に事務所を置いているため、この取り組みに賛同しています。

ネットワークで連携しながらセミナーや勉強会、啓発活動などを行っています。理事に、FTCJから中島早苗が就任。

2021年は、世田谷区内でフェアトレード商品の紹介や販売、セミナーの開催、世田谷区産業復興基本条例検討会、オリジナルドリップコーヒー商品化などに取り組みました。

# CRC CAMPAIGN

## 広げよう!子どもの権利条約キャンペーン

国連子どもの権利条約制定30年の節目の2019年に子どもの権利保障を目指しNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員団体として参加。

広げよう!子どもの権利条約キャンペーンは、全国100団体以上の賛同団体により構成されています。2021年度は、子どもの権利に関する政策提言活動や、権利を学び活かすためのフォーラムの開催などに取り組みました。フリー・ザ・チルドレンの子どもメンバーから「子ども基本法」につながる提言案に対する意見を集め、それを元にした政策提言案活動を行ったり、院内集会を開催し、子どもが国会議員などに発言するなど、子どもたちによる提言活動が積極的に行なわれました。



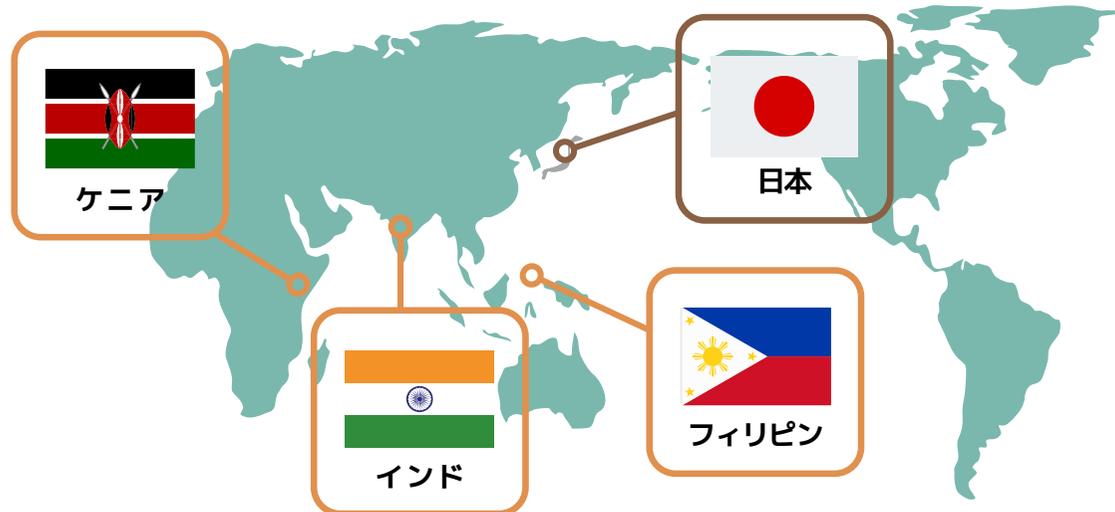
フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、貧困などが原因で困難な状況にある開発途上国や国内の子どもの権利が守られ、質の良い教育を受け自立できるよう、支援を行っています。

THE PHILIPPINES フィリピン支援



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは設立した1999年から現地パートナー団体と協働しフィリピンで事業を実施しています。

2021年に支援活動を実施した国



EMERGENCY RELIEF

海外緊急・復興支援事業

2021年も2020年に引き続き、支援事業地にて現地の要望を受け、コロナ禍における子どもたちやコミュニティへの緊急支援などを実施しました。

ケニア・保健医療支援事業

ケニアナロク群南ナロク県のマサイ民族やキクユ民族に対して、コロナ感染を予防・治療するためのモバイルクリニックを通じた支援を実施。マスクや石鹼、水を提供し、村びと、特に子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行いました。  
助成・寄付:大東建託グループみらい基金/東京グレートサンタラン2020



フィリピン：コロナ緊急食糧支援事業

ルソン島サンバレス州内の先住民コミュニティや、パナイ島イロイロ州内コミュニティにて、コロナ禍で収入を失ったり収入が減少した貧困家庭に向けた食料・生活用品物資緊急支援を実施しました。  
協力:(株)サックスバーホールディングス



フィリピン：コロナ視覚障害者緊急支援事業

フィリピン盲人連合と協働しながら、コロナ禍で収入を失った視覚障害のあるマッサージ師を対象に、マッサージ師以外の仕事を起業したり、マッサージ院を再開したりすることで再び収入を得て自立できるよう、ICTスキルを習得する研修や、起業・営業再開に必要な資金を提供しました。



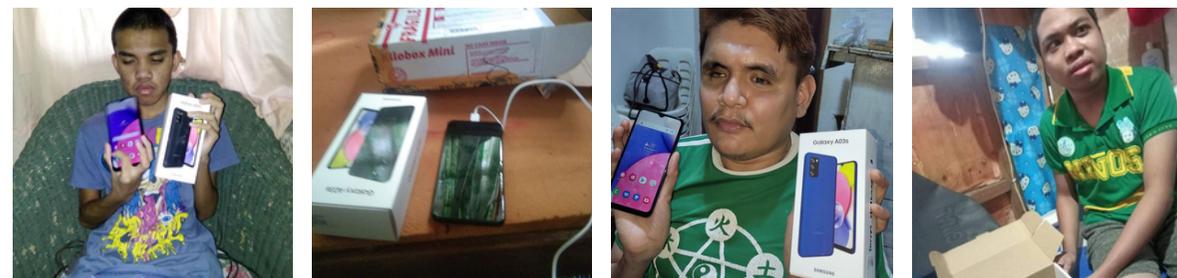
先住民族の子どもへの教育支援

日本の支援者との文通を通じて子どもを支援する「文通プログラム」、チョコレートプロジェクト(～2019年)の収益、2019年夏に実施したクラウドファンディングなどの寄付を用いて、ミンダナオ島先住民族の村に暮らす子どもたちの教育環境整備に向けた支援事業を実施しています。当初は2020年上半期に予定していた、現地の学校修繕工事がコロナ禍の影響で丸1年停滞していましたが、2021年5月～9月にかけて校舎の修繕工事を実施することができました。再びコロナ感染拡大に伴い、竣工式は次年度へ繰り越し実施予定です。



視覚障害のある高校生への教育支援

フィリピン盲人連合と協働し、視覚障害のあるフィリピンの低所得家庭の高校生がオンライン授業に対応できるよう、スマホやタブレットなどのICT機器を無料提供及びICTスキル習得のためのセミナーを提供し、教育を受ける権利の保障を行う活動を行いました。



性虐待や刑務所から救出された子ども教育支援

寄付やフェアトレード商品の販売収益などによって、フィリピン・ルソン島サンバレス州オロンガポに位置する現地パートナーNGOプレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された青少年への自立支援や、アエタ民族や貧困コミュニティへの自立支援活動の実施することができました。  
(寄付:東京グレートサンタラン2020)



## INDIA インド支援

## SCHOLARSHIP PROGRAM

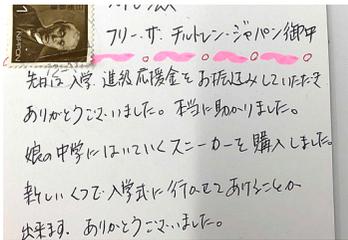
## スカラシップ（参加費免除制度）

国内の経済的困難にあるなど生きづらさを感じている子どもたちを対象に、テイク・アクション・オンラインキャンプへ無料で招待するスカラシップ（参加費免除制度）を通じ支援を行いました。2回のキャンプに小学5年生～高校3年生の計58名が参加し、そのうち14人をスカラシップ生として無料招待しました。スカラシップ生の中で希望者にはキャンプ開催期間中にノートパソコンとWi-Fiの無料貸し出し支援も行いました。（助成：大東建託グループみらい基金）

## NEW SCHOOL YEAR SUPPORT

## FTCJ入学・進級応援金

経済的問題に直面する20才未満の子どもがいる世帯に対し、新学期の準備ができるよう5000円を応援金として提供しました。応募条件は、生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、住民税非課税世帯、就学援助を受けている世帯、失業やコロナウイルスの影響で今年の所得が住民税非課税家庭と同レベルに減収している世帯、お子さんが4人以上いる世帯、その他の特別な事情がある世帯とし、2月中旬に呼びかけ100人以上からの申込があったため、寄付を募り、最終的に104世帯へ応援金を支給しました。（助成：公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」）



## FOOD ASSISTANCE PROGRAM

## 食料品支援

日本のひとり親家庭のうち半数以上が貧困状態にあると言われています。フリー・ザ・チルドレンでは、ひとり親家庭や生活困窮者などへ支援活動を行う各地域の団体と協力し、食料品や文房具の配布支援をしています。2021年は、株式会社メディアプランズUM様のご協賛の元、東京、大阪、新潟の約1,500世帯に食品配付を行うことができました。



## COVID-19 EMERGENCY RELIEF

## コロナ緊急支援

コロナ禍で経済的な困難を抱える家庭や生きづらさを感じる家庭及び障害のある子どもたちに対し、オーガニック食材による健康的なお弁当の提供を千葉県オーガニックカフェEDENと協働して実施しました。配布場所：子ども食堂、高校、障害のある子どもの学童、寺子屋オーガニックカフェEDEN（助成：公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」）



現地パートナーNGOと協働し、インドの子どもたちの権利が守られ、健やかに育ち、自立できるよう活動しています。

## 西ベンガル州 CCD支援事業

手紙を通じて交流しながら子どもへの支援をおこなう「文通プログラム」を通して集った資金や助成金、その他寄付を用いて、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるようにする事業です。今年度は、コロナの影響でロックダウンになったことから、養護施設の運営ができなくなってしまい、そのため、事業実施を変更し教育支援ではなく、貧困地域での食糧・生活物資支援の実施に切り替え実施しました。（下段をご覧ください）

## 西ベンガル州コロナ緊急食料・生活物資支援

西ベンガル州にて現地パートナー団体CCDと連携しながら、新型コロナウイルスで経済的に困窮する家庭に対し、昨年に引き続き食料や生活物資の支給をするなど支援活動を行うことができました。また、CLASSICS the Small Luxury様よりハンカチのご寄付をいただき、食料物資と一緒に配布することができました。新しいハンカチは、感染予防のマスクとしても使えるため、人々から大変喜ばれました。

（助成：公益財団法人庭野平和財団 その他協力：CLASSICS the Small Luxury）



## マハラシュトラ州ムンバイ郊外貧困地域の子どもの教育支援

マハラシュトラ州の州都ムンバイ郊外の貧困地域の子どもの教育支援を、現地パートナーNGOを通じて実施しました。具体的には、小学生315人に文房具、学用品を提供し、10学年（日本の高1に相当）までの生徒60人に、オンライン授業を受けるためのICT端末を提供し、オンラインや対面授業を通じて質の良い教育を受けられるように支援することができました。（助成：大東建託グループみらい基金）



# MEDIA APPEARANCES メディア掲載



中学・高校の社会科、家庭科、英語の教科書に当団体の活動が掲載されています。

高校英語教科書UNICORN/中学生公民教科書/高校英語教科書English Now!/英語教科書 ONE WORLD 他



毎日小学生新聞の一面に、FTCJ子どもアンバサダーとして活動する波田野優さんの取り組み(児童労働新聞の製作)が紹介されました。



FTCJ子どもアンバサダーの刈屋彩乃さんが子どもロビイングメンバーとして自民党を訪問した時の様子が、朝日新聞に掲載されました。



TBSラジオの番組「アシタノカレッジ」に当団体代表の中島と、小学生の頃からメンバーとして活動する坂口くり果さんが出演しました。

## 私たちの活動を支えてくださっている法人のみなさま



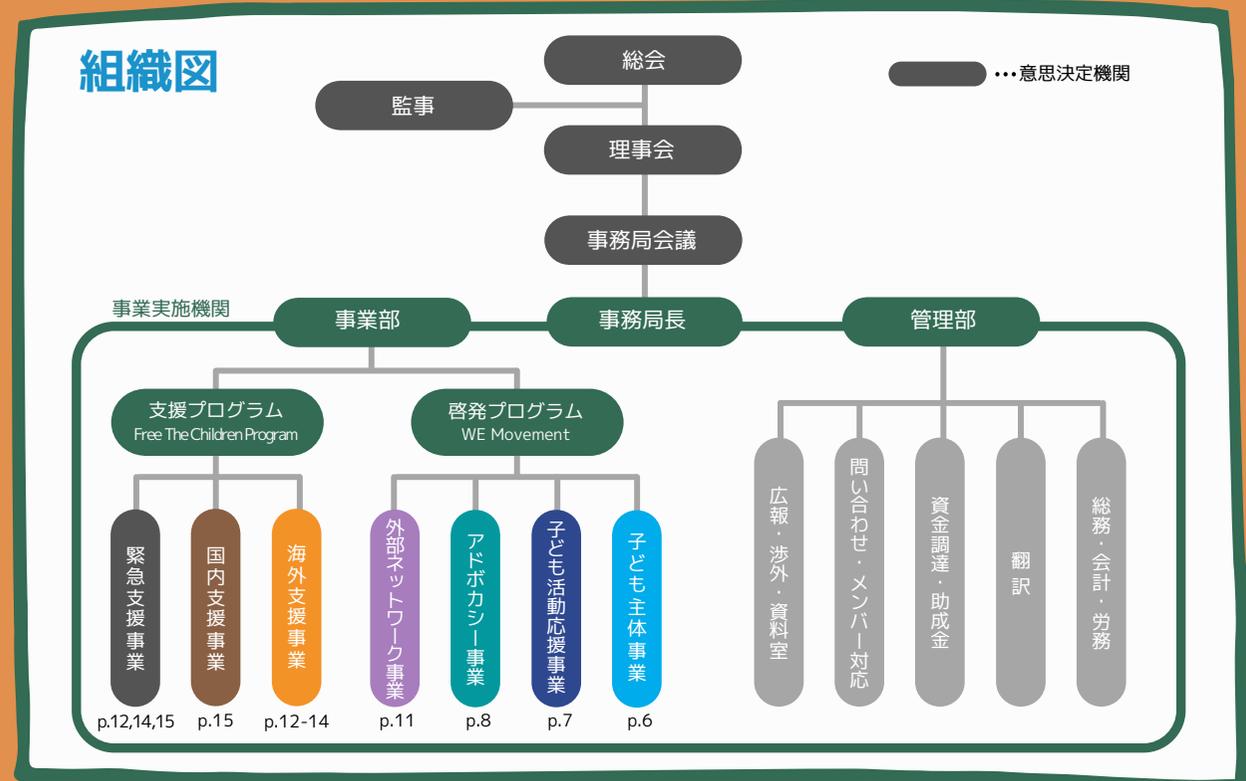
### 寄付・協賛協力(順不同)

大東建託グループみらい基金、ランチパッドテクノロジー&パートナー株式会社、株式会社東京デリカ、株式会社GIVER、ブルーミング中西株式会社、株式会社データシステム、株式会社バーナム、東京グレートサンタラン(一般社団法人OSAKAあかるクラブ)、株式会社サックスパーホールディングス、ストライプジャパン株式会社、ハ王子ロータリークラブ、日本教職員組合、株式会社ボーグレス・ジャパン、株式会社ソリオ、イノベーション株式会社、株式会社ブギ、株式会社ZEN、IEC安全協議会、一般社団法人H2Oサンタ、株式会社Take Action、ソーシャルアクションカンパニー株式会社、ソフトバンクつながる募金、日本パプテスト厚木教会、愛知県教職員連合会、工学院大学附属高等学校、駒沢学園女子高等学校、鳥取城北高等学校、今金町立今金中学校生徒会、日之影町立宮永小学校、橋本市立あやの台小学校、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校、横浜市立平楽中学校、大阪暁光高等学校、品川エトワール女子高等学校、春日部女子高等学校、認定こども園厚木幼稚園

### 助成金(順不同)

子どもゆめ基金、日本労働組合総連合会、連合・愛のキャン、2021年度年賀寄付金配分事業、キリン福祉財団 キリン・地域のちから応援事業、公益財団法人庭野平和財団、公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」

# ORGANIZATION 組織体制



### 組織概要

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
 設立:1999年1月1日/NPO法人取得:2004年9月21日  
 東京都より「認定NPO法人」認証:2017年3月13日

### 事務所所在地

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F  
 正会員数:45名

- 代表理事:中島早苗
- 副代表理事:出野恵子、永野恵理
- 理事:風間稔、志賀アリカ、竹内美紗子、伴野保志、中島慎治、林大介、藤井裕子、松下耕二
- 監事:倉下由香、宮島珠

### アドバイザーご紹介(敬称略)

堀内光子  
 労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。

河合将生  
 NPO・NGOの組織基盤強化やマネジメントのコンサルタントなどを行うOFFICE MUSUBIME代表

平尾潔  
 日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員

長田和弘  
 税理士、中小企業診断士、準認定ファンドレイザー

### 事務局体制・役割

原元望:事務局長  
 中島早苗(理事兼任):自立支援事業・組織運営全般  
 出野恵子(理事兼任):アドボカシー事業リーダー  
 板倉香子:会計・総務  
 伊藤菜々美:子ども活動応援事業リーダー  
 広瀬太智:子ども活動応援事業 スピーカー・ファシリテーター  
 鈴木洋一:子ども活動応援事業  
 鈴木悠仁子:子ども活動応援事業、アドボカシー事業  
 伴野保志(理事兼任):個人情報管理システム構築  
 藤井裕子(理事兼任):関西での活動  
 坂口奈々:個人情報管理  
 河本千夏:アドボカシー事業(育休中)  
 その他ボランティア 5名、翻訳ボランティア 25名

### 子どもアンバサダー(敬称略)

10期(2020年10月~2021年9月):飯塚優(高2)、松田和馬、坂口くり果、石川実桜(高2)、おおはしれみ(高2)、小原りん(小5)、刈屋彩乃(中2)、森大輝、河合はな(高2)、佐藤桔子(中1)、杉田彩華(高2)、波田野優(小5)、松田佳乃子(高2)、宮地佐代子(高2)

11期(2021年10月~):波田野優(小6)、山口清崇(中1)、あんな(中1)、今川つかさ(中2)、じゅの(中2)、刈屋彩乃(中3)、なの(中3)、宮武喜更(中3)、植岡優里奈(中3)、山岸永実(中3)、高石莉緒(高1)、まつかわかなえ(高1)、なみきりの(高2)、横澤日菜子(高2)

### インターンご紹介(敬称略)

S.S.、杉野若葉、上條茜里、石田瑠梨、吉田凜、ミッタルスワティ

## 事業会計貸借対照表

全事業所		[税込] (単位: 円)	
2021年12月31日 現在		2021年12月31日 現在	
資産の部	金額	負債・正味財産の部	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	2,141,506
現金	131,346	預り金	224,299
小口現金	111,169	流動負債計	2,365,805
普通預金	36,395,540	負債の部合計	2,365,805
外貨	226,018		
現金・預金計	36,864,073	<b>正味財産の部</b>	
(売上債権)		<b>【正味財産】</b>	
未収金	398,614	正味財産	35,127,671
売上債権計	398,614	(うち当期正味財産増加額)	9,508,460
(棚卸資産)		正味財産計	35,127,671
商品	211,259	正味財産の部合計	35,127,671
棚卸資産計	211,259		
流動資産合計	37,473,946		
<b>【固定資産】</b>			
(無形固定資産)			
電話加入権	19,530		
無形固定資産計	19,530		
固定資産合計	19,530		
資産の部合計	37,493,476	負債・正味財産の部合計	37,493,476

## 事業会計財産目録

全事業所		[税込] (単位: 円)	
2021年12月31日 現在		2021年12月31日 現在	
《資産の部》			
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金	131,346		
小口現金	111,169		
普通預金	36,395,540		
外貨	226,018		
現金・預金計	36,864,073		
(売上債権)			
未収金	398,614		
売上債権計	398,614		
(棚卸資産)			
商品	211,259		
棚卸資産計	211,259		
流動資産合計	37,473,946		
<b>【固定資産】</b>			
(無形固定資産)			
電話加入権	19,530		
無形固定資産計	19,530		
固定資産合計	19,530		
資産の部合計	37,493,476		
《負債の部》			
<b>【流動負債】</b>			
未払金	2,141,506		
預り金	224,299		
流動負債計	2,365,805		
負債の部合計	2,365,805		
正味財産	35,127,671		

## 2021年度 活動計算書

全事業所		[税込] (単位: 円)	
自2021年1月1日 至2021年12月31日		自2021年1月1日 至2021年12月31日	
《経常収益の部》			
<b>【経常収益の部】</b>			
<b>【経常収入】</b>			
正会員受取会費	270,000		
受取会費計	270,000		
受取寄付金	31,586,056		
受取寄付金計	31,586,056		
受取民間助成金	6,508,100		
受取補助金	4,526,000		
受取助成金・補助金計	11,034,100		
事業収益			
自主事業収益	3,054,725		
事業収益計 合計	3,054,725		
受取利息	226		
雑収益	43,290		
為替差益	4,011		
交通費収益	54,942		
その他収益計	102,469		
経常収益 計	46,047,350		
<b>【経常費用の部】</b>			
<b>【事業費】</b>			
給料手当	9,735,656		
法定福利費	1,890,440		
賞与	1,780,964		
人件費計	13,407,060		
商品材料	262,931		
寄付・海外送金額	6,836,513		
旅費交通費	624,530		
印刷製本費	367,050		
通信運搬費	780,067		
広告宣伝費	202,551		
企画制作費	5,200,000		
消耗品費	29,441		
業務委託費	2,842,194		
研修・施設会場費	138,930		
地代・家賃	1,156,572		
水道光熱費	127,282		
諸会費	77,340		
支払い手数料	314,373		
租税 公課	70,000		
その他事業費計	19,029,774		
当期事業費計	32,436,834		
合計	32,436,834		
事業費計	32,436,834		
<b>【管理費】</b>			
給料 手当	2,419,389		
法定福利費	472,609		
賞与	163,200		
人件費計	3,055,198		
旅費交通費	17,299		
印刷製本費	40,320		
通信運搬費	134,713		
消耗品費	36,515		
業務委託費	459,053		
地代 家賃	289,140		
水道光熱費	31,818		
諸 会 費	1,000		
支払手数料	33,247		
雑 費	2,800		
その他経費計	1,045,905		
租税 公課	200		
管理費計	4,101,303		
経常費用計	36,538,137		
当期正味財産増減額	9,509,213		
前期繰越正味財産額	25,618,458		
次期繰越正味財産額	35,127,671		

## 2021年度 財務諸表の注記

### 1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

### 2.事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです

全事業所		[税込] (単位: 円)						
自2021年1月1日 至2021年12月31日		自2021年1月1日 至2021年12月31日						
科目	子ども主体	子ども活動応援	外部ネットワーク	アドホカー	Fes	自立支援	合計	
<b>(1)人件費</b>								
給料手当	387,138	2,321,618	80,400	4,103,410	1,641,765	1,201,325	9,735,656	
賞与	79,217	470,465	15,600	632,466	337,216	246,000	1,780,964	
法定福利費	75,618	453,706	18,904	793,985	321,375	226,853	1,890,440	
人件費計	541,973	3,245,789	114,904	5,529,861	2,300,356	1,674,178	13,407,060	
<b>(2)その他経費</b>								
商品材料	0	0	0	262,931	0	0	262,931	
寄付・海外送金額	0	73,265	0	0	0	6,763,248	6,836,513	
旅費交通費	5,102	167,468	40,547	347,037	49,070	15,306	624,530	
印刷製本費	4,521	73,534	1,130	234,107	40,195	13,563	367,050	
通信運搬費	9,242	275,379	2,427	348,802	113,342	30,876	780,067	
広告宣伝費	500	167,129	125	6,172	27,125	1,500	202,551	
企画制作費	0	0	0	0	5,200,000	0	5,200,000	
消耗品費	416	5,492	104	4,371	17,808	1,249	29,441	
業務委託費	132,415	1,423,395	554,620	599,354	132,410	0	2,842,194	
研修・施設会場費	0	100,000	0	38,930	0	0	138,930	
地代・家賃	46,263	277,577	11,566	485,760	196,617	138,789	1,156,572	
水道光熱費	5,091	30,548	1,273	53,458	21,638	15,274	127,282	
保険	0	0	0	0	0	0	0	
諸会費	0	0	77,340	0	0	0	77,340	
支払手数料	9,480	60,096	3,300	145,171	40,722	55,604	314,373	
返還金	0	0	0	0	0	0	0	
為替差損	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	
租税 公課	11,666	11,667	11,666	11,667	11,667	11,667	70,000	
その他経費計	224,697	2,665,549	704,098	2,537,760	5,850,594	7,047,076	19,029,774	
事業費計	766,670	5,911,338	819,002	8,067,621	8,150,950	8,721,253	32,436,834	

### 3.使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は35,127,671円ですが、そのうち、Fes事業に7,932,476円、自立支援事業(海外支援)に5,002,125円、自立支援事業(国内支援)に785,125円に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は21,407,945円です。

## 監査報告書

監査報告書	
2022年2月21日	
特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	その結果につき次のとおり報告します。
代表理事 中島 早苗 殿	
特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	
監事 宮島 珠	
私、監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2021年	収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、
(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の会計業務の監査を行いました。	法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、2017年3月13日、都庁より認定NPO法人として認定されています。これにより、当団体への皆さまからのご寄付は「特定寄附金」とみなされ、寄附金控除の対象となります。詳しくは団体ウェブサイトをご覧ください。

*Together*  
WE CAN CHANGE  
THE WORLD  
FREE THE CHILDREN JAPAN

「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会に

FREE THE  
CHILDREN

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F

03-6321-8948 / 080-3218-5693

info@ftcj.org www.ftcj.org

